

2011Vol.3特集「学び合い—クラス全員が学びに参加する授業—」へのご意見

このコーナーでは、編集部寄せられた読者の先生方からのご意見をご紹介します。

*「VIEW21」中学版のバックナンバーは「Benesse教育研究開発センター」ウェブサイト(<http://benesse.jp/berd/>)でご覧いただけます。

◎言語活動の充実がうたわれている新学習指導要領の全面実施に向け、各教科でどのように取り組んでいくべきか、その指針となる内容でした。特に国語以外の教科でも盛んに取り組まれている現状を知り、少しずつでも「学び合い」を取り入れていきたいと思いました。
[福島県／M中学校／A・K]

◎上越教育大の西川純教授の「学び合いだから生徒が孤立したのではなく、孤立が顕在化したに過ぎません」という言葉が印象に残りました。課題整理では、学び合いに関するよくある疑問や不安が的確に示された上で、学び合いの構え、各校の実践が示されていて分かりやすかったです。
[長野県／N中学校／K・Y]

◎上越教育大の西川教授の「教師が特定の生徒に介入してしまえば、生徒の『自ら他者とかかわる力』を伸ばせません」という言葉を読み、どんな力を付けたいのか、生徒に任せばなしではないか、力は確実に付いたのか、支援の必要な生徒はいないかなど、考えさせられることが多くありました。
[岐阜県／I中学校／K・N]

◎成績に応じて、どうグループ分けをし学び合わせることが有効なのか、学び合いにより上位層を伸ばせるのかなど、疑問に思うことが多くあります。佐賀市立東与賀中学校では、学力下位層の生徒を伸ばすだけでなく、上位層の生徒の学習意欲にも応える研究をしていて、参考になりました。
[東京都／D中学校／M・A]

◎「教師は生徒をつなぐ役目に徹し、自らかかわり学ぶ力を育む」という松川町立松川中学校の先生の言葉が印象に残りました。授業の展開例や教師の振り返りは参考になりました。
[兵庫県／T中学校／S・K]

◎私には「学び合い＝グループ学習」という意識が強くて、形から入ってうまくいかないことがよくありました。どうすれば生徒同士の学びを深められるのか。小牧市立北里中学校の事例にもあるように、生徒に自分の経験や気づきを発言させ、教師はそれらをつなぎ、生徒と共につくり上げることを第一に考えることが大切だと思いました。
[富山県／F中学校／O・H]

◎学び合いの機能が「関心、意欲、態度」「知識、理解」「思考力、判断力、表現力」「技能表現」のどれに効果的に働くのかが見えませんでした。しかし、記事からは、少なくとも「関心、意欲、態度」に効果があることは分かりました。共通理解の手立てとして「通信」を発行することは、自校で学び合いを取り入れる際に役立つと感じました。
[北海道／H中学校／K・S]

◎学び合いの推進には、校長の思いも大切ですが、今の学びを何とかしたいと考える仲間が必要であることを事例を通して感じました。特に、今までの授業を転換すべき人に参加を促し、意欲を引き出すのが鍵だと思いました。
[神奈川県／O中学校／F・T]

お知らせ

文部科学省が被災地の学校と提供者を結ぶマッチングサイトを開設しています

「東日本大震災 子どもの学び支援ポータルサイト」<http://manabishien.mext.go.jp/>

編集後記

取材からの帰り道、まだ袖の長い制服を着て、緊張と期待を抱えながら中学校の門をくぐった当時の自分を思い出しました。「新入生の課題や不安を受け止めつつ、期待や意欲を中学校3年間の成長につなげていく。導入期はそのスタートです」——先生方が導入期に取り組まれている指導の工夫は、目の前の新入生の課題だけでなく、その後3年間の生徒の成長を見通した上で位置付けられたものであることを教えていただきました。(佐藤)

VIEW21 中学版 2011 Vol.4

2012年2月13日発行／通巻第312号

発行人 新井健一
編集人 原 茂
発行所 (株)ベネッセコーポレーション
Benesse教育研究開発センター
印刷製本 (株)ビーヴィオコーポレーション
編集協力 (有)ペンダコ
執筆協力 長谷川敦、二宮良太、山口慎治
撮影協力 荒川潤、石田理恵、川上一生

◎お問い合わせ先

VIEW21編集部

電話 03-5320-1287

〒163-0411東京都新宿区西新宿2-1-1
新宿三井ビルディング13階

©Benesse Corporation 2012